



## 獅子舞 (1)

### ○獅子舞とは

魔よけや福を招くと考えられている想像上の動物「獅子」に扮して舞う（踊る）芸能です。起源は中国やインドなどで、奈良時代に仏教文化とともに日本に入ってきた伎楽から発展したものであると考えられています。五穀豊穰\*、悪疫退散\*を願うものとして、江戸時代に全国に広まりました。

### ◇ 獅子舞の種類

獅子舞は日本各地に様々な形で伝承されており、なかでも大きな1匹の獅子を2人の人が操るもの、1匹の獅子を1人で演じるものも多く見られます。八千代市内では3人がそれぞれ1つの獅子頭をつけ、3匹の獅子に扮する「三匹獅子舞」が伝承されています。



三匹の獅子(勝田)  
令和元年撮影

### ○勝田の獅子舞 (八千代市指定文化財)

毎年9月の最初の日曜日に駒形神社と円福寺で行われています。かつては二百十日\*にあたる9月1日に行われていました。

勝田の獅子舞は「勝田大同団」の団員が代々伝承してきた獅子舞です。大同団は勝田にある家の長男や婿など家を継ぐ者が入るもので、学校を出ると入団し、45歳頃に定年となっていました。

獅子はオヤジ（親父）・セナ（息子）・カカ（母）と呼ばれます。お腹につけた鉦打ち太鼓を叩きながら笛の囃子と団員の謡（念仏）に合わせて、モトギリ・ハタガケ・タネ・オオタネの4種類が行われます。

- ・モトギリ …基本の形で、初心者が披露します。
- ・ハタガケ …モトギリにカサノハという舞を加えたもので、一番長く舞われます。
- ・タネ …先輩格が披露するもので、アドリブが多く、時間は短めです。
- ・オオタネ…旦那衆が余興として行いますが、毎年必ず披露されるものではありません。

勝田の獅子舞が行われている場所



勝田では獅子舞のあと、手作りされた五色の幣束を襟にさし、口上・手踊り・ミノコ踊り\*を行います。

◇ 勝田の獅子舞の一日のながれ ※時間は近年の開催時の例

時間	場所	内容
10 時頃	円福寺	モトギリを半芝 <small>はんしば</small> （曲の半分）
	ミチブエを吹きながら駒形神社へ移動	
	駒形神社	モトギリの残りの半芝
休憩		
15 時頃	駒形神社	モトギリ
16 時頃		お神酒 <small>みき</small> を大同団役員が酌 <small>く</small> み交わし、獅子がおヒネリをなげる
17 時 30 分頃		ハタガケ タネ
18 時頃		オオタネ（行われぬことも多い） 口上・手踊り・ミノコ踊り
19 時頃	円福寺	モトギリを半芝 口上・手踊り・ミノコ踊り 行事終了 団員 <small>なおり</small> は直会



モトギリ  
平成29年撮影



ハタガケ  
平成24年撮影



ミチブエ  
令和元年撮影

本内容は、郷土博物館旧ホームページ内「民俗探検隊」コーナーで掲載していた記事を再編集したものです。



### \*ちょっと付け足し

五穀豊穡…作物がたくさんできること。 悪疫退散…病気などの悪いものを追い払うこと。  
二百十日…立春から 210 日目のこと。台風の前頃とされ、農家は無事の収穫とがんを祈願しました。  
手踊り・ミノコ踊り

…手踊りは鹿島信仰からきた鹿島踊りのこと。ミノコ踊りは弥勒みろく踊りのことをいい、海の方から弥勒菩薩を迎えるための踊りで、鹿島踊りとほぼ同じリズムとテンポで踊ります。鹿島神のお告げを伝える「鹿島の事触ことぶれ」が各地を回ったことにより、これらの踊りが広まったと考えられています。

参考文献：八千代市『昭和 61 年度八千代市文化財総合調査報告 八千代市民俗音楽シリーズ 2 勝田の獅子舞』  
八千代市『八千代市の歴史 資料編 民俗』平成 5 年  
八千代市文化伝承館『八千代の祭 探訪の葉③ 勝田の獅子舞』  
八千代市歴史民俗資料館『獅子の世界-悪魔を払う獅子なれど-』平成 6 年  
八千代市郷土歴史研究会『史談八千代 第 16 号 特集・勝田の獅子舞』平成 3 年

やち博ライブラリー 第 4 号  
発行日 令和 2 年 11 月 1 日  
編集・発行 八千代市立郷土博物館